

2020年3月17日

## 日本の航空会社の国際線 コロナの影響は？

コロナの影響で減便が相次いでいるが、日本の航空会社の減便状況について各社の時刻表と発表資料(3月16日時点のもの)をもとに整理してみた。

※ 運航状況は3月28日時点を基準としてカウントした。

### 1. JAL 減便▲36%、ANA 減便▲46%、;運航する便数はほぼ同じ

- ・ 減便は両社ともに巨大な規模だが、もともと便数の多い ANA がより大幅。
- ・ 減便は、個々の便の運休のほか、曜日の圧縮、機材小型化、日を定めての Spot 減便のほか、臨時便による運休の補完も入れている。
- ・ JAL は中国/香港/韓国及び台湾線を中心とした減便、ANA の減便はその他路線にも及ぶ。
- ・ 減便後の便数(3/28 時点)は両社ほぼ同じ規模(1日に47便程度を運航)。

【ANA、JAL の減便と運航の状況(3月28時点)】

	ANA			(備考)	JAL			(備考)
	計	運航	運休		計	運航	運休	
	便	便	便		便	便	便	
北米	14	11	3	Spot▲12便	11	11		
ハワイ	3	3			7	7		Spot▲6便
欧州	9	9		Spot▲14便	6	6		
オセアニア	2	1	1	Spot▲1便	3	3		
東南ア	24	16.4	7.6	Spot▲5便	18	16	2	Spot▲13便
台湾	3	1	2	臨時便あり 小型化あり	7	3.1	3.9	Spot▲7便
中国/香港	30	5.9	24.1		16	0.6	15.4	
韓国	3	0	3		5	0.3	4.7	臨時便+5便
合計	88	47.3	40.7		73	47	26	
率(%)		54	46		率(%)	64	36	

## 2. LCCと中堅会社は、全面運休に近い

ANA/JALと同じように減便と運航の状況を整理した。

LCC&中堅6社では、9割が運休、運航は日に4便。

- ・ Peach は 30 便を全面運休
- ・ Jetstar-J はマニラ線(成田、中部発)を残し、その他は運休
- ・ Spring-J はハルビン、上海線の特定曜日のみ残し、その他は運休
- ・ AirAsia-J(台湾線)は運航するが、Spot 減便を実施。
- ・ スカイマーク(SKY)；サイパン線をダイヤどおりに運航する。
- ・ スターフライヤー(SFJ)；台湾線を全面運休。

大手とLCC&中堅を合わせた合計(206便)では、過半の106便が運休。事態の厳しさが如実に表れている。

【LCCと中堅会社の運航の状況(3月28時点)】

		Peach			
		計	運航	運休	(備考)
		便	便	便	
Peach	東南ア	1		1	
	台湾	17		17	
	中国/香港	6		6	
	韓国	6		6	
	合計	30		30	
Jetstar-J	東南ア	2	1.6	0.4	
	台湾	1		1	
	中国/香港	2		2	
	韓国	0		0	
	合計	5	1.6	3.4	
Spring-J	中国	5	0.7	4.3	
AirAsia-J	台湾	1	1		Spot▲5便
SKY	サイパン	1	1		
SFJ	台湾	2		2	
<b>中堅&amp;LCC合計</b>		<b>44</b>	<b>4.3</b>	<b>39.7</b>	
		率(%)	10	90	

以上